

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第I項 表象文化学部 日本語日本文学科

出身高校名 ノートルダム女学院高等学校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

同志社女子大学の掲げる教育理念に魅惑を感じたからです。また日本語日本文学科には今出川キャンパスの立地を生かしたフィールドワークや京ことは"についての授業など多くのカリキュラムが充実していると思います。志望しました。オープンキャンパスに参加し、学校の雰囲気"自分が合っていたことも理由の一つです。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

同志社女子大学に入学したいという熱意を直接伝えられるのがAO方式入学者選抜だ"と思ったからです。特に今まで"経験してきたキリスト教活動を高く評価していた"けることが決め手でした。AO入試は、合格の基準が明確ではないので"不安でしたが挑戦してみようと思いました。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は課外活動に焦点を当てました。子ども食堂に携わったり、教会の行事の運営に関わってきたことをアピールしました。活動を通して学んだ"ことや得たことに加えて、今後の大学生活や卒業後の進路に"どのように役立てたいのかについてまとめました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

出願書類は全て国語科の先生に添削をしていただき、誤字、脱字だけでなく、文章の構成など"たくさんアドバイスを受け、ひとつひとつ丁寧に作成しました。特に課題レポートは苦戦しましたが、時間をかけて自分が伝えたいことが"はっきりとわかるように心がけました。

〔面接〕

高校の先生に協力していただき、面接練習を重ねました。出願書類は当日まで"何度も読み返し、要点を絞って簡潔に話せるようにしました。本番はとても緊張しましたが"面接官の方が優しくだったので"30分間の面接はリラックスして臨むことができました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試で出会った友達に共通することは、入学後の目標や将来の夢が"明瞭なことだ"と感じました。そのため学部学科の枠にとらわれず、良い刺激を受けることが"でき、本当に良かったです。推薦入試や一般入試の勉強と両立は大変だ"と思いますが、元気で頑張ってください!!応援しています!!